

# 公益財団法人サカタ財団

## 第3期事業報告

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

### 1. 概略

(1) 当財団の2022年3月31日時点の貸借対照表は、以下の通りとなりました。

- ・資産の部は、「現預金」の残高が、期首25,566千円より、379千円増加し、25,946千円となりました。
- ・負債の部は、当期に発生した未払報酬等の計上に伴い、未払金222千円が計上されました。
- ・正味財産の部は、指定正味財産20,000千円に一般正味財産5,752千円と合わせて、25,752千円となりました。

(2) 当財団の2021年4月1日から2022年3月31日までの正味財産増減計算書は、以下の通りとなりました。

- ・経常収益は、有限会社ティーエム興産および株式会社サカタのタネから、それぞれ15,000千円、10,000千円の寄付金等により、25,000千円となりました。
- ・経常費用は、事業費として、給付奨学金23,100千円、事務局員の給与手当420千円等により、前期に比べ、8,419千円増の23,615千円となりました。また、管理費として、事務局員の給与420千円、賃借料165千円、通信費155千円、顧問料110千円等により、前期と比べ、ほぼ同額の1,114千円となりました。経常費用合計は、前期と比べ、8,419千円増の24,730千円となり、経常費用の主な増加要因は、奨学生増加に伴う給付奨学金増加によるものであります。
- ・したがって、当期経常増減額は、269千円増となりました。

### 2. 事業報告

当期においては、国内における新型コロナウイルス感染症の影響により、理事会、評議員会の開催、奨学生の募集活動、選考等、当財団関係者と奨学生間の親睦・意見交換等を目的とした交流会の開催等、当財団の活動は、前年度に引続き、制約される環境となりました。

しかしながら、理事会、評議員会については、オンライン会議や書面会議による開催、奨学金助成事業においては、当財団の奨学生制度の説明のための大学訪問を休止し、パンフレットや募集要項の郵送、電話による情報提供等の募集活動を展開いたしました。また、奨学生の選考では、前年より導入したオンライン面接を活用する等、当財団関係者や奨学金応募者の健康と安全を第一に考え選考方法を採用いたしました。

当財団の主たる事業である奨学金助成事業においては、前期末より第3期生の募集告知活動を開始し、多くの大学関係者、大学生の皆さまからお問い合わせをいただき、第3期奨学生の応募者数は、第2期奨学生の応募数69名を上回る88名となりました。書類選考及び面接選考の結果を踏まえ、当財団の選考委員会における審議の結果、第3期奨学生10名が決定され、2021年7月より給付奨学金の支給が開始されました。これにより、第3期末時点において、当財団の奨学生は30名となりました。

なお、2022年3月より、第4期生の募集告知活動を開始いたしました。第4期生の募集では、新たに大学院生の募集を開始し、応募対象を拡大させております。また、重点告知大学として全国各地の有名国公立大学、私立大学41大学を独自で選定し、重点的に告知活動を行うとともに、当財団ホームページに募集要項等を掲載し、国内の大学・大学院への告知活動を展開しております。第4期生は募集人数10名を予定しており、選考委員会等の審議を経て、2022年7月に決定する予定となります。